

感染対策情報発信センター(ICIC:Infection Control Information Center)

を設置しました

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)がパンデミックとなって、2年以上が経過しました。当院は第二種感染症指定医療機関として、感染流行の初期からこの COVID-19 への対応に病院一丸となって取り組んできました。そして得られた多くの経験、知見、対策のノウハウが、当院には蓄積されています。その情報を、地域の医療機関・医療施設へ提供し、地域医療における感染対策に組織的かつ効果的に貢献するため、この「感染対策情報発信センター(ICIC:Infection Control Information Center)」を設置いたしました。

当センターの業務内容としては、地域の医療機関、介護・福祉施設、教育機関等を対象とした感染対策に係る研修会等の開催や助言、合同カンファレンス、新興感染症対応訓練の実施、WEB や紙媒体による感染対策情報の発信等を行っていく予定です。発信する情報には、新規の感染情報や感染対策のみならず、検査や薬剤に関する情報も提供していきたいと考えています。

当センターは、地域における感染対策に少しでも貢献できるよう活動していく所存ですので、何卒よろしく願いいたします。

感染対策情報発信センター センター長
(副院長) 東 秀史

2020 年初頭から始まった新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行は、変異株の出現などもあり、この先の動向は未だ不透明です。そのような先の見えない状況が続いている中でも COVID-19 以外の感染症は世界中で次々と発生しており、また新たなパンデミックがいつか起きることは必至です。

そういった種々の感染症に対し、適切な感染症対策を講じるためにも、正しい情報を得て、日頃から備えておくことが大切になってきます。地域の皆さまと情報を共有し、連携を取り、共に感染症への迅速かつ最適な対策を行っていくことができるよう、このたび感染症対策情報発信センター (ICIC) をスタートいたしました。

ICIC の活動が皆さまの感染症対策の一助となるべく努めてまいりますので、何卒よろしく願いいたします。

感染対策情報発信センター 副センター長
(感染症内科) 原田由紀子